

# 混綿技術

[シーズ提供元：東レ株式会社]

## 活用企業イメージ

- 綿を利用した商品、枕、掛け布団、ジャケット等を製造販売する企業  
→高機能を付加した商品の提供
- 綿を製造販売する企業  
→高付加価値の綿の提供

## 技術内容

細短繊維、多葉細短繊維、中空太短繊維を混合して優れた嵩高性・保温性・圧縮回復性を持った商品の製造に使用する混綿技術。

## 技術の特徴

- 繊維の材質は特にこだわらず、所定の割合で各繊維を混合して使用する。
- 嵩高性、風合い、軽量、保温性、長期圧縮後の嵩高回復性等の付加価値を付けることが出来る。
- 寝装寝具、ダウンジャケット風の衣料品など摘要分野が広い。
- 合成繊維で、既に確認済である。



混綿技術の構成概要

## 開発の経緯

従来の詰め綿混綿技術では、保温性・圧縮回復性等は羽毛対比不十分であり、さらなる性能向上のニーズが高かった。本混綿技術により、保温性・圧縮回復性・嵩高性・風合い等、詰め綿としての性能向上を実現した。

### 活用例

- ・混綿詰め綿の製造、販売
- ・混綿詰め綿を適用した枕、掛け布団、ダウンジャケット風衣料、防寒具等の商品の製造、販売



ウィンタースポーツ用防寒具



寒冷地用防寒具



冬用衣服類

東レ株式会社のHPより、イメージ図

### 活用への補足・提供条件等

- ・技術の確立段階：実用化実績有り。
- ・ライセンス出来ない分野：特になし。
- ・技術の提供形態
  - ① 混綿技術の特許実施許諾＋ノウハウ提供。  
ノウハウ提供は案件別に相談、商品展開において訴求性能（嵩高性、回復性、保温性等）の事前評価を実施すること。
  - ② 混綿詰め綿の販売。③その他：委託加工、混綿技術の共同開発等。

#### 契約金

- ① 契約一時金＋ランニングロイヤリティ＋ノウハウ提供料（別途協議）
- ②③ 購入代金、加工料等（別途協議）

### 特許情報

特許番号：特許第 5578185 号  
 登録日：平成 26 年 7 月 18 日  
 出願日：平成 24 年 2 月 14 日  
 名称：混綿詰め綿  
 権利の残存年数：17 年  
 （平成 44 年 2 月迄）

【その他関連特許有】  
 ※平成 26 年 1 0 月 1 日現在

### その他関連情報

#### 用語解説

#### 混綿

太さ、形状等の異なる原綿を混ぜること。従来より、細繊維と太繊維の短繊維を絡ませたり、異形断面繊維、中空繊維、自己捲縮性異形断面繊維を用いたりした混綿技術が存在する。本技術は、細短繊維、多葉細短繊維、中空太短繊維の混合比で、高付加価値の混綿とする。